

経済再生の成果届ける

公明は都議選勝利へ総力 安定の要

山口代表ら各地で新春街頭演説会



「希望がゆきわたる国へ全力を尽くす」と力説する山口代表（右から3人目）と中島都議（右隣、北多摩3区予定候補）ら=2日 東京・新宿駅西口

2017年が開幕した。公明党は元日から全国各地で新春街頭演説会を開催し、山口那津男代表、井上義久幹事長ら党幹部を先頭に、夏の東京都議選の予定候補者らが、勢いよく新年のスタートを切った。

■関連記事2、7面

【東京】山口代表は2日午前、東京・新宿駅西口で太田昭宏全国議員団会議議長や高木剛介、高木美智代、の両衆院議員、竹谷とし子参院議員、中島よしお都議（都議選予定候補）北多摩3区らと共に街頭演説を行った。

山口代表は、英国の欧州連合（EU）離脱や韓国大統領の強硬な世界政治情勢が不安定な現状に恐れ、「わが国は安定した政

権の下で着実に政治を執行し、見通しの利く展開の年にした」と強調した。経済再生に向けては、自公政権が「働き方改革」などに取り組んだ結果、雇用情勢が改善し、国内総生産（GDP）が大幅に増えた成果を力説。経済成長の成果を適切に分配する施策として、公明党が無年金者対策の実施や給付型奨学金の創設、配偶者控除の拡大をリードしてきた実績を紹介し、「経済成長と分配がみ合う好循環をつくるのが、デフレ脱却のあり方だ。経済一辺倒ではなく、分配とバランスを取り、希望がゆきわたる国をつくっていく」と強調した。

東京都議選については、「都議会公明党が都政の安定を生み出す力」として、勝利に総力を挙げると力説。北九州市議選など統一外地方選挙にも勝利し、「公明党のネットワークの基盤を強く、安定させていく。地方議会の安定で国政の推進力も生まれる」と述べた。中島都議は、「2020年の東京五輪・パラリンピックの先を見据えた新たな東京の構築に全力を尽くす」と決意を訴えた。